



南山大学 (愛知県)

高度な日本語能力を身に付け日本社会への理解を深めるプログラム

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

南山大学は1946年に設立され、8学部18学科、大学院6研究科15専攻(うち、1専攻は専門職大学院)の他、3研究所、9研究センターをもつ総合大学である。

中部地方唯一の男女共学カトリック校であり、「人間の尊厳のために」を教育のモットーとし、世界から選ばれる大学、世界に人材を輩出できる大学を目指した教育を行っている。

(2023年5月1日現在)

2) 教員・学生数等

○専任教員数 347名 非常勤講師数 419名

○学部・学生数等

学生数 9,607名

(内訳：学部生 9,410名 大学院生 197名)

うち、外国人留学生数 143名

(内訳：学部生 120名 大学院生 23名)

外国人留学生別科生 163名

○学部・大学院研究科

学部：人文学部・外国語学部・経済学部
経営学部・法学部・総合政策学部
理工学部・国際教養学部

大学院：人間文化研究科・国際地域文化研究科
社会科学研究科・法学研究科
理工学研究科・法務研究科

② 国際交流の実績

海外協定校数 118校+3団体 (2023年度)

派遣交換留学生数 109名 (2023年度)

受入交換留学生数 95名 (2023春学期)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2023年：留学生数 143名
外国人留学生別科生数 163名

日研生 5人

2022年：留学生数 161名
外国人留学生別科生数 41名

日研生 4人

2021年：留学生数 165名
外国人留学生別科生数 45名

日研生 4人

④ 地域の特徴

- [1] 東京や大阪、京都など日本の主要都市へ行くのに便利。
- [2] 日本で4番目に人口の多い都市だが、東京や大阪比べ生活費が安い。
- [3] 都会にいなながら窮屈ではなく、文化的施設や娯楽を楽しむことができる。
- [4] 自然に囲まれ、少し足を伸ばせば、すぐに海や山を見られる。
- [5] 自動車や航空産業など世界を代表する企業が集積。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

コース名：外国人留学生別科
(Center for Japanese Studies)

コースの特色：

[1]日本語コースでは、6段階(I-VI)のレベル別コースを用意し、各学生の日本語能力にあった学習が可能で、読む・書く・聴く・話すの4技能の各習熟度の違いにも対応する。

[2]将来のキャリア形成に役立つ各種日本語セミナー、日本の文化・社会等について英語による講義科目を設置し、単に日本語を学ぶということに留まらず、将来、研究や仕事に必要とされる日本語能力の向上や日本に対する理解を深めることをねらいつつ行う。

[3]書道や華道等芸術科目を通じて「日本」についての基礎的・専門的知識の習得を目指す。

[4] その他

各種フィールドトリップへの参加や交流スペースである多文化交流ラウンジ、学生TAによる日本語学習サポート(ジャパンプラザ)の利用により、日本語を使って交流を図りながら、授業以外の大学生活の中で、日本を学ぶことも重視している。

③ 受入定員

120名(大使館推薦4名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- (i) 日本語・日本文化に関係する分野を専攻する者、または他の専攻分野でも日本語履修に意欲のある者。
- (ii) 4.0 評価において 3.0 以上の GPA を修めた者または同等の者。

⑤ 達成目標

高い日本語運用能力を備えると同時に日本文化を深く理解するため。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2024年9月中旬 ～ 2025年5月下旬
（在籍期間：2024年9月1日 ～ 2025年5月22日）

⑦ 奨学金支給期間

2024年9月 ～ 2025年5月

⑧ 研修・年間スケジュール

<秋学期>

9月上旬： 渡日

9月： 入学式、オリエンテーション
クラス分けテスト
ウェルカムパーティー

10月： フィールドトリップ※

11月： 大学祭、フィールドトリップ※

12月： 期末試験

<春学期>

1月： オリエンテーション
クラス分けテスト
ウェルカムパーティー

2月： フィールドトリップ※

3月： フィールドトリップ※

4月： フィールドトリップ※

5月： 期末試験
修了式・修了パーティー

5月下旬： 帰国

※フィールドトリップ：

学部学生との交流バス旅行等を実施する。

⑨ コースの修了要件

原則として、1学期に日本語科目8単位を含む14単位から18単位を履修する。

修了には以下の条件を満たす必要がある。

「連続して在学する2学期間において、日本語科目（選択必修科目）を含めた通算28単位以上を取得すること」

修了者には5月下旬に実施される修了式にて修了証書を授与する。履修科目について出席状況、課題提出状況および試験の結果を総合的に判断の上、成績を判定し、単位を付与する。成績証明書の発行を希望する場合は別途、国際センター事務室に申し込む。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

本学外国人留学生別科では、5つのカテゴリー（日本語科目、日本語セミナー科目、日本事情科目、オープン科目、芸術科目）において、様々な科目を提供している。日本語科目および日本語セミナー科目は日本語レベル毎に分かれ集中的に学び、日本事情科目やオープン科目は学部学生との共修の機会も提供している。

2) 研修・コース開設科目

| | | 単位数 | 時間数※ |
|--------------|------|-----|------|
| [1]日本語科目 | 選択必修 | 8 | 800 |
| [2]日本語セミナー科目 | 選択 | 2 | 100 |
| [3]日本事情科目 | 選択 | 3 | 150 |
| [4]芸術科目 | 選択 | 2 | 100 |
| [5]オープン科目 | 選択 | 2 | 200 |

※時間数は1週間あたりの講義時間数（単位：分）

I) 選択必修科目

[1]日本語科目

学期初めに実施されるクラス分けテストの結果で下記のⅠ～Ⅵレベルのいずれかに配置され、レベルに応じた指導をおこなう。

日本語Ⅰ：日本語の重要基礎文法を定着させる。4技能をバランスよく伸ばし、日常生活の諸場面でも対応できる力を身につける。

日本語Ⅱ：日本語の基礎力を更に向上させ、長文読解も導入する。

日本語Ⅲ：上級の日本語コースへの準備。生教材の読解・論理的な文章の作成・討論等も行う。

日本語Ⅳ：語彙や表現力を伸ばし、更なる日本語4技能の充実を目指す。

日本語Ⅴ：日本語4技能の完成に加え、目的別の高度な日本語を身につける。専門書の読解、小論文作成なども行う。

日本語Ⅵ：日本語Ⅴを終えた学生のためのクラス。学生の主専攻分野を含む様々な学術領域の読み物を教材とし討論を行う。

II) 選択科目

[2]日本語セミナー科目

日本語で授業が行われる。初級・中級翻訳、講読（科学技術）、講読（社会科学）、ボランティアのための日本語、創作文、ビジネス日本語、旅行業日本語、講読（日本文学）、古文、外国語としての日本語教授法入門、学術日本語作文、大学進学準備日本語 など

[3] 日本事情科目

英語により講義が行われる。日本の文学、日本の文化、日本のポップカルチャー、日本文化と芸術、日本の宗教、日本の歴史、日本の社会、日本の経済、日本の経営、日本の政治、日本の外交など

(一部、学部学生との共修可能科目あり)

[4] 芸術科目

華道・書道・茶道・踊り・漫画・美術

[5] オープン科目

学部生に開講されている科目の一部を学部生とともに別科生も受講することができる。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

社会で通用する日本語を実践するため、履修者のうち数名を対象に職業体験プログラムを行う。また、フィールドワークリサーチやボランティアリングの授業も開講する。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本事情科目の一部は学部生も履修可能となっている。また、オープン科目は学部生に開講されている科目を留学生別科に所属する学生が履修することができ、日本人学生との共修が可能。日本の歴史、社会、経営、外交等幅広い分野で学部生に所属する日本人学生と日本に関する教養科目を学習することができる。

⑪ 指導体制

日本語科目は留学生別科に所属する専任・非常勤講師が専門的な指導をおこなう。日本語科目担当教員は学生の出席、課題提出などをみながら日本語学習をきめ細かくサポートをおこなう。また、学生1名につき1名の指導教員が配置され、日常生活等の相談に応じる。

各科目担当の指導責任者（教員）：

(※2023年10月1日現在)

| 担当 | 氏名 |
|----------------------|--------------------------|
| 日本語科目・日本語セミナー科目担当 | 六川 雅彦 |
| 日本事情科目・芸術科目・オープン科目担当 | ロペス ロドリゲス フランシスコ ハビエル |

留学生別科の授業運営や学生生活サポートは国際センターがおこなう。

国際センター責任者（教員）：

(※2023年10月1日現在)

| 役職名・担当 | 氏名 |
|---------------------------|--------------------------|
| 国際センター長 | 山岸 敬和 |
| 国際センター副センター長 (留学生教学担当) | ロペス ロドリゲス フランシスコ ハビエル |
| 学生生活担当 | マーク・ブレマー |

■ 宿 舎

① ヤンセン国際寮（大学寮）
大学に隣接し、日本人学生と共同生活を行う国際学生宿舎。
グローバル人材としての教養とスキルを身につける「教育プログラム」も提供。

月額：60,000円
(教育プログラム費 別途 月額 1,000円)

② フォワイエ南山（大学寮）
外国人学生を対象としたワンルーム型宿舎。

月額 60,000円
(入居費 別途 25,000円)

○過去3年間の日本語・日研生の宿舎入居状況
2023年度受入5名：ヤンセン国際寮（5名）
2022年度受入4名：ヤンセン国際寮（4名）
2021年度受入4名：名古屋交流会館（3名）
山里交流会館（1名）

■ 修了生へのフォローアップ

留学生同窓会Facebookで情報発信を行い、年に2回ニュースレターをWebページで発行する。



■ 問合せ先

<担当部署>
南山大学国際センター事務局

住所： 〒466-8673
愛知県名古屋市山里町18
TEL： +81-52-832-3123（直通）
FAX： +81-52-832-5490
Email： cjs-office@ic.nanzan-u.ac.jp
<ウェブサイト>
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>